

## 若手研究者との座談会

### 兵庫県生物学会神戸支部

日時：2016年3月12日18時30分～21時40分  
場所：神戸三宮東急REIホテル1Fレストラン

「シャングリ・ラ」

〒651-0096

兵庫県神戸市中央区雲井通 6-1-5

TEL 078-291-0109 FAX 078-221-2917

講師：鶴田哲也准教授 大阪産業大学  
(魚類生態学, 陸水生態学, 保全生物学,  
進化生態学)

参加費：飲食代 3500円

本会初の試みとして、現在活躍中の若手研究者との座談会を企画しました。従来の研究会や講演会では講師の講演を聞くのみでしたが、この企画では双方向の情報交換を目的としました。当日は、私を含め7名の会員が参加しました。鶴田先生のこれまでの研究内容を1時間ほどお話いただいた後、飲食をともにしながら、ざっくばらんに話し合いました。

鶴田先生は静岡県出身で、近畿大学を卒業の後、金沢大学、北海道大学、中央水産研究所などで生態学を学び、現在は大阪産業大学でイタセンパラ（淀川水系に生息するタナゴ科の天然記念物）の研究をされています。その保護のためにイタセンパラ市民ネットワーク（イタセンネット）を組織されています。イタセンネットは、生物多様性の保全回復を目的に市民団体と研究機関、企業、行政などが連携して組織されており、誰でも参加できます。兵庫県内でのシカ害に対する取り組みを組織する良い例として、学ぶところが多いと感じました。また、リュウキュウアユについての研究では、アユが好む河床を説明していただき、河川の保全活動の一環として、本州のアユに対しても応用ができそうでした。

鶴田先生の経歴が多彩なだけに、参加者が参考になるような取り組みも多く、話が尽きませんでしたが、閉会を惜しみつつ21時40分に終了しました。また、会員同士初対面の方々もおられ、会員間の交流を深めるのに非常に良い機会にもなりました。次年度も継続して、座談会を

催したいと考えています。是非、ご参加ください。

現在、鶴田研究室では、

- ・淀川城北ワンド群の魚類群集
- ・オオクチバスとブルーギルの食性
- ・カダヤシの生息環境と食性
- ・国内外来種ヌマチチブによる在来魚への影響
- ・釣り人の外来魚に対する意識調査
- ・都市河川の生物多様性
- ・八尾市のため池群におけるニッポンバラタナゴの保全学的研究
- ・河畔植生が河川内の底生昆虫の群集構造に与える影響
- ・希少淡水魚アカザの生息環境と食性
- ・三重県伊賀市の水田地帯における水生昆虫の群集構造

など様々なとりくみをされています。鶴田先生は筆者が淡水魚研究をしていた頃からの付き合いです。各支部での活動に役立ちそうなアドバイスをいただけたと思います。気軽にご相談ください。

神戸支部から鶴田先生の飲食費と交通費を支出していただきました。

(文責：石川正樹)

